

平成27年度 自己評価・学校関係者評価 報告書（進路支援部）

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号

105

自己評価

学校教育目標	・夢の実現に向け自ら学び考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
評価する領域・分野	進路支援
現状及びアンケートの結果分析等	・進路情報の提供を心がけているが、さまざまな実態の児童生徒一人一人により応じた情報提供、進路支援が求められていると思われる。 ・高等部はどの項目もある程度の評価があるが、小、中学部保護者の評価が低く、関係諸機関との連携発信や進路指導を重点的に努める必要がある。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・児童生徒の障がいをもえた進路学習計画をたて、学習を進める。 ・家庭や関係機関等と連携し、組織的な進路支援体制による進路実現を行う。 ・地域や産業界と協力、連携し、職場開拓に努める。 ・進路情報収集、提供、ニーズに応じた進路相談や支援会議を行う。
重点目標を達成するための校内組織体制	・進路支援部が中心となって働きかけ、全校、学部体制で進路支援を行う。 ・外部との連携を深め、情報を収集し、全職員に発信する。
目標の達成に必要な具体的取組	・情報収集と情報提供、進路相談、外部との連携、発信、職場開拓、職員研修の実施等を重点に取り組む。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・児童生徒への進路学習、研修会等の実施、進路支援、進路実現 ・進路情報の収集と提供 ・外部との連携、職場開拓
取組状況・実践内容等	・進路のしおり作成、進路だより発行、情報提供、学部別進路希望調査等 ・進路研修会、職場見学、校内作業実習、就業体験、作業学習等の実施 ・保護者向け学部別進路説明会、市町別進路研修会、各種説明会の実施 ・職場開拓や関係機関との連携 ・支援会議の実施・卒業生への追支援等
評価の視点	評価
①児童生徒が学習計画に基づき、充実した進路学習・研修を進める支援ができたか。	A (B) C D
②児童生徒、保護者、職員に応じた情報提供ができたか。	A B (C) D
③地域や産業界、関係機関との連携ができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
○進路に関する学習や各種進路研修等を実施し、進路実現への支援につながった。 ○職場開拓等を通じて学校を広報し、障がい者雇用の啓発と働きかけができた。 ▲一人一人に応じた進路情報提供、進路支援が十分ではなかったため、進路支援部から発信し、職員の力を高めていく。	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	・職員一人一人の進路支援の力を高められるよう情報提供や進路研修等を行い、さまざまな児童生徒、保護者へ進路情報の提供に努めるとともに進路支援を進めていく。

学校関係者評価（平成28年1月14日実施）

意見・要望・評価等・
・就業体験で実習生を受け入れているが、学校での事前学習をきちんと行ってもらえていることがよく分かる。ただ、実習現場で初めて体験することもあり、そういう場合は、きちんと教えるようにしている。時に厳しいことを言うこともあるが、2週間の実習を終えた生徒の表情には達成感がみられて素晴らしいと思う。 ・就労先などに関して保護者は多くの情報をもっていらっしゃるが、時として事実とは異なる場合もある。折に触れて正確な情報を提供してほしい。